

# 内原野焼文鎮 返礼品に

## 安芸市 県大生考案 書道の街発信

【安芸】安芸市の魅力を発信しようと、高知県立大学の学生が考案した内原野焼の文鎮がこのほど、市のふるさと納税返礼品に加わった。ペロペロキャンデーとクッキーをイメージしたかわいらしいデザイン。制作した地元の陶芸家、西邨出さん(50)は「書道の街、安芸の特産品にしたい」と話している。

同大学の地域学習の一環で、3年生3人が内原野焼に着目。安芸市に祖母がおり、幼いころから書道を習っている中沢遥さん(20)が文鎮の制作を思いつき、昨夏に西邨さんに提案してデザインなどを練ってきた。

「インテリアにもなっていて、小さな子が思わず手に取りたくなるものを」と考えた文鎮は、直径約9センチ、重さは約280グラムで全4色。「うちはらのやきがし」と命名した。

風合いを生かし、表面をあえてざらざらに。キャンディー風は内原野焼では珍しい淡いピンクと水色を付け、つやつやに仕上げた。

西邨さんは「文鎮を作ったのは初めて。縛りが少ない内原野焼だからこそ、こんな面白い発想を形にできた」と満足げ。中沢さんは「大好きな内原野焼で安芸らしい品を作れてうれしい。職人さんが一つ一つ作った重みやぬくもりを感じてほし



中沢遥さん(左)と西邨出さん(右)が考案した内原野焼の文鎮。西邨出さん(左)が一つ一つ焼き上げている(安芸市川北)

い」とPRしている。後は注文次第で通常販売も検討していくという。(宮内萌子)